概要版

第２次名古屋市環境基本計画

ともに創る
環境首都なごや

目　次

計画の目標…… 1
1. 共通の基盤=協働…… 2
2. 健康で安全な都市…… 6
3. 循環する都市…… 11
4. 人と自然が共生する快適な都市…… 17
5. 地球環境保全に貢献する都市…… 21

平成18年7月
名古屋市

「環境首都なごや」をともに創りましょう

２０１０年は名古屋開府４００年です。

１６１０年、徳川家康は、名古屋城の築城とあわせ、尾張の中心地だった清洲のまちを名古屋に移す「清洲越し」を行いました。当時の大気中の二酸化炭素濃度は２８０ppm前後だったと言われています。

現在の名古屋の二酸化炭素濃度は４００ppmに達しています。特に２０世紀後半に急上昇しています。二酸化炭素濃度の上昇と呼応するように地球の平均気温もどんどん上がり、１９９０年代は過去１０００年間で最も温暖な１０年となりました。記録的な集中豪雨による浸水被害も、最近多発しています。

太古の生物が何千万年も地中深く眠り、石油などの化石燃料になりました。現代の私たちは、大量の化石燃料を使い、大量の二酸化炭素を排出しながら、便利で快適な暮らしを享受しています。一人ひとりの生活によって、太古からの貯金を食いつぶすとともに、地球環境に急激な負荷をかけているのです。

本市では、平成１１年に「名古屋市環境基本計画」を策定しましたが、その後、大幅なごみ減量の達成や「愛・地球博」による環境意識の高まりなど、大きな社会的変化がありました。そこで今回、その見直しを行いました。

見直し後の計画では、市民･事業者･行政の「パートナーシップ（協力）」をさらに発展させ、3者の具体的な行動に重点を置いた「協働」を全ての個別目標を貫く共通の基盤として位置づけました。

新しい総合目標は、“ ともに創る「環境首都なごや」”。

目標年度は、名古屋開府４００年にあたる２０１０年度です。

名古屋には、短期間のうちに大幅なごみ減量を達成した市民パワーがあります。かけがえのない地球環境を未来の子どもたちに伝えていくため、市民パワーを結集し、「環境首都なごや」をともに創りましょう。

平成１８年7月

名古屋市長
松原武久